

令和5年度事業者防災訓練課題対応資料

京都大学複合原子力科学研究所  
2024年1月23日

課題番号	問題点	本来どうすべきであったか	やるべきこと(課題)	再発課題	原因分析	対策
1	1) 備付資料として、整理されたCOPシートやEALの判断基準と判断フローを示した資料がなかったため、ERCプラント班への情報提供が断片的となり、根拠に基づき整理された説明ができなかった。(再発事項) 2) 事象の進展予測や複数の戦略検討が十分にできていなかった。(再発事項) 3) 所内での情報共有が不十分であり、現場作業者がプラント状況を把握できていなかった。	COPシートは進展予測や戦略検討の際の材料になるように、緊急対策設備や事象の種類に応じて作成し、かつ備付資料の一部とすべきであった。 EALの判断基準や判断のフローについても、備付資料の一部とすべきであった。 ERC対応者はこれらの資料をもとにした、根拠ある整理された情報提供をすべきであった。 また、上記の使用を用いて所内へも情報提供をすべきであった。	十分に整理された資料に基づき、根拠を含めたまとまった情報としてERCプラント班および所内に情報提供を行うことができるように、資料の整備を行う。	✓	プラントごと、情報の種類ごとのCOPシートを準備したが、情報が不十分であったため、ERC対応者による根拠説明や所内での情報提供ができなかった。備付資料として、EALの判断基準などの説明資料が不足していた。	緊急対策設備、事象の種類に応じて整理され、判断の根拠などが説明しやすいCOPシートへと改善する。 適切なタイミングでCOPシートを活用して現状整理や進展予測、を行い、優先順位を含めた戦略検討や所内での情報共有が行えるように緊急対策本部員への教育を行う。 EAL判断時に根拠背に基づいた説明ができるよう、判断基準や判断フローを記載した資料を作成し、備付資料として追加する。
2	重要情報について、緊対本部全体での情報共有やERCプラント班への優先的な情報提供ができなかった。	重要情報については、緊対本部全体で情報共有するとともに、入手した順ではなく優先度に応じた情報提供をすべきであった。	重要情報となる事象発生時に即座に緊対本部全体で情報共有し、ERCプラント班へ情報提供ができるよう、情報の流れを見直す。		緊対本部で重要情報を入手した際に、EAL判断や対策の迅速な判断を優先した結果、緊対本部全体での情報共有やERC対応者への情報提供が遅れた。	FAX通報を要するような重要情報については、緊対本部全体で情報共有を行い、ERC対応者へのプッシュによる情報提供とERCプラント班への優先的な情報提供を指示するよう情報の流れを改善する。
3	SFで発生した事象に対し、明確でない判断根拠に基づいてSE06発生の判断を行った。	明確な判断根拠に基づいてSE06発生の判断をすべきであった。	SFのSE06について、適切な判断ができるよう具体的な判断フローを作成する。		明確な根拠に基づいたEALの発生判断をするための具体的なフローが整備されていなかった。	EALの判断を行う際の具体的なフローを整備し、備付資料としてERCプラント班とも共有する。

規制庁記入					事業者記入			
訓練日	No.	誰へのコメントか	コメントの種別	コメント 良かった点/改善すべき点などの気づき、訓練を通じて確認したい内容などを記載	場所 フルダウン から選択	割り振り	事業者意見等	課題区分
11/7	1	事業者の対応	確認事項	10月26日の訓練事前説明会にて2023年度版の備付資料に対し、いくつかコメントさせていただき、反映するとのご回答をいただいていたかと思いましたが、訓練当日の備付資料は差し替えられておらず、2022年度版のままでした。 コメントはいつ反映されますか？	ERC		コメントを反映した版を作成しメールでは送付しましたが、印刷物の差し替えができておりませんでしたので、差し替えを行います。	備付資料の設置
11/7	23	事業者の対応	改善すべき点	ERC備え付け資料が2023年のものに差し替えられていなかった。	ERC		(再掲)コメントを反映した版を作成しメールでは送付しましたが、印刷物の差し替えができておりませんでしたので、差し替えを行います。	備付資料の設置
11/7	2	事業者の対応	改善すべき点	No.1のような状況でしたので、昨年度の訓練評価で課題であった備付資料の活用と内容の充実については、改善が見られなかった、と思われます。 また、今後備付資料を改訂され、提出される際は、改訂前後の変更点とどのような場面の説明でどのように用いるかをご確認いただけますようお願いいたします。	ERC		承知しました。	備付資料の設置
11/7	17	事業者の対応	改善すべき点	備え付け資料が最新化されていない EALについて追加すべき	ERC		備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加したいと思います。	備付資料の充実
11/7	26	事業者の対応	改善すべき点	備え付け資料が不足していた	ERC		ERC対応者とも検討を行い、備え付け資料の充実をはかります。	備付資料の充実
11/7	30	事業者の対応	確認事項	ERC備え付け資料:EAL判断資料も入れて欲しい	ERC		備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加したいと思います。	備付資料の充実
11/7	31	事業者の対応	改善すべき点	SE判断の根拠や状況のポイントをわかりやすく説明してもらえれば、ありがたい	ERC		EAL判断時の説明が分かりやすくなるよう、備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加します。	備付資料の充実
11/7	40	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略:使える水源や漏えい箇所の特典など	ERC		進展予測と戦略の説明に適した内容になるよう、備え付け資料の充実をはかります。	備付資料の充実
11/7	42	事業者の対応	改善すべき点	ERC備え付け資料に、AL、SEなど必要な情報の記載がない。	ERC		(再掲)EAL判断時の説明が分かりやすくなるよう、備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加します。	備付資料の充実
11/7	54	事業者の対応	改善すべき点	進捗状況:使える対策、使えない対策、各状況の説明が不十分	ERC		使える対策、使えない対策についての説明が十分にできるよう、備え付け資料の充実をはかるとともに、ERC対応者への教育を行います。	備付資料の充実
11/7	55	事業者の対応	改善すべき点	AL、SE、GEやエリアモニタの設定値など、あらかじめ情報を整理しておいてよい点が多数あった。	ERC		(再掲)EAL判断時の説明が分かりやすくなるよう、備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加します。	備付資料の充実
11/7	57	事業者の対応	改善すべき点	ERC備え付け資料:ALからGEの情報が不足	ERC		(再掲)EAL判断時の説明が分かりやすくなるよう、備え付け資料にEALの判断基準の一覧を追加します。	備付資料の充実
11/7	44	事業者の対応	改善すべき点	・状況伝達は単に結果のみ。説明不十分であり、判断根拠(SE判断など)も付すべき ・質問回答も改良の余地あり	ERC		根拠説明が不十分であったため、根拠ある説明ができるよう備え付け資料の充実とERC対応者の教育を行いたいと思います。	備付資料の充実
11/7	56	事業者の対応	改善すべき点	COPとして十分整理されていないのではなか(他施設に比べて)	ERC		緊急対策設備、事象の種類に応じたCOPの整理と充実をはかります。	COPの整理充実
11/7	59	事業者の対応	改善すべき点	備え付け資料にCOP(common Operational Pictuer)を充実して備え付け資料にも入れて欲しい。特に、施設状況を俯瞰できる資料、SE、GEの判断フローを用意して書画装置をもっと活用して説明いただきたい。	ERC		緊急対策設備、事象の種類に応じたCOPの整理と充実をはかり、EAL判断時の説明が分かりやすくなるよう、備え付け資料にEALの判断基準の一覧、を追加します。	COPの整理充実 備付資料の充実
11/7	49	事業者の対応	改善すべき点	COPの活用:画面共有はあれたもののFAX共有がなかった?	ERC		画面共有にて説明を行う際、FAX送信の必要があるか確認し、必要があればFAX送信を行うようERC対応者への教育を行う。	COP活用
11/7	51	事業者の対応	改善すべき点	もっとうまくCOP資料を用いていただき、FAXでも状況共有されるといいと思われる	ERC		COPを活用した情報共有について緊急対策本部員の要素訓練により練度向上をはかり、FAX送信の必要がある場合にはFAX送信を行うようERC対応者への教育を行う。	COP活用
11/7	60	事業者の対応	改善すべき点	第11報(25条)の「発生事象と対応の状況」には、第10報(第25条)の情報を残したうえで、第11報の新たな情報に下線を付して記載いただきたい。理由は10報と11報の間に書き損じた情報がないか確認できるようにするため。	ERC		25条FAXにおける続報送信の際に新たに追加された情報を明確化するよう記載の手順を検討します。	FAX通報(記載法)
	2	その他	改善すべき点	ERC対応者からCOPシートなどのERCへの送信の際の手順(FAXヘッダの要否、着信確認の要否など)が明確になっておらず、送信の際に混乱が生じた。	緊対所		ERCへのFAX送信の際の手順を明確化し、情報連絡班への送信依頼の窓口を一本化する。	FAX通報(手順)

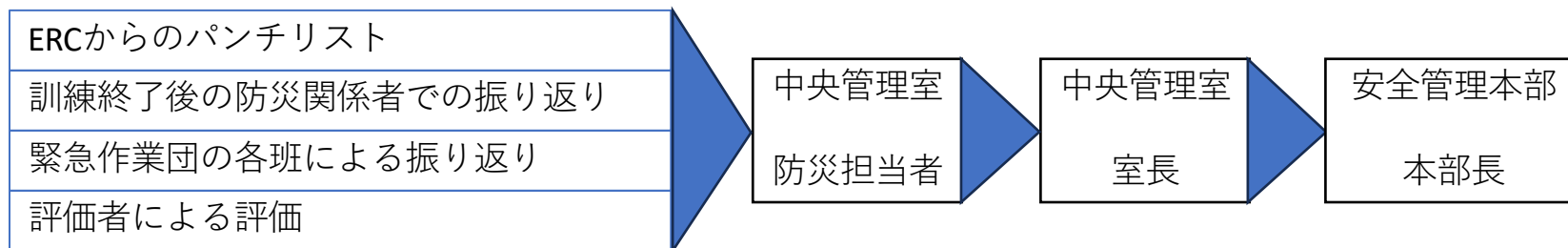
訓練日	No.	誰へのコメントか	コメントの種別	コメント 良かった点/改善すべき点などの気づき、訓練を通じて確認したい内容などを記載	場所 フルダウン から選択	割り振り	事業者意見等	課題区分
11/7	3	事業者の対応	良かった点	通報様式FAX送付時には、送信後すぐERCへ着信確認の電話がありました。(ただ、枚数が多い時などはまだ受信FAXが印刷中に電話がかかっておりましたので、送信にかかる時間もお気遣いいただけると助かります。)	ERC		所内の別のFAXにも同時送信を行い、そのFAXでの着信を確認した後に所外への着信確認を行っております。所内FAXの着信確認後、少し時間をおいて電話での着信確認を行うよう手順の変更を検討します。	FAX通報(着信確認)
11/7	4	事業者の対応	確認事項	一方で、リエゾンがいらっしゃらないので、COP資料もFAXでERCに送付いただきましたが、こちらについては送付があまりタイムリーではなく、着信確認の電話もありませんでした。COP資料のFAX送付について特に着信確認するよう定められてはおりませんが、着信確	ERC		COP資料等の送信の際には着信確認をする手順になっておりませんでした。着信確認を行うよう手順の変更を行います。	FAX通報(着信確認)
11/7	12	事業者の対応	改善すべき点	送付したFAXの着信確認をwebexであったが、単なる着信確認であれば別途電話で行うべき。	ERC		ERC対応者に着信確認は不要であることを周知する。	FAX通報(着信確認)
11/7	15	事業者の対応	改善すべき点	事故・プラントの状況/進展予測と戦略: 水流の説明に値や根拠の不足が見られた	ERC		状況説明を行う際に、提供する情報に不足がなく根拠ある説明ができるようCOPシートの改善を行い、ERC対応者に根拠情報を含めて情報提供できるよう緊対本部員への教育を行いたいと思います。	ERC対応(根拠説明)
11/7	19	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略: 事故進展予測の根拠も含めて説明して欲しかった	ERC		進展予測のみならず、全体的に根拠説明が不十分であったため、根拠ある説明ができるようCOPシートの改善を行い、ERC対応者に根拠情報を含めて情報提供できるよう緊対本部員への教育を行う。	ERC対応(根拠説明)
11/7	20	事業者の対応	改善すべき点	・事業者が提供される情報や説明が断片的。ALやSEについて「なぜそうなったのか」という理由も含めて説明すべき ・炉心タンクへの注水が継続しているのかいないのかわからない。一見矛盾した発話が連続してなされていた	ERC		全体的に根拠説明が不十分であったため、根拠ある説明ができるようCOPシートの改善を行い、ERC対応者に根拠情報を含めて情報提供できるよう緊対本部員への教育を行う。	ERC対応(根拠説明)
11/7	44	事業者の対応	改善すべき点	・状況伝達は単に結果のみ。説明不十分であり、判断根拠(SE判断など)も付すべき	ERC		根拠説明が不十分であったため、根拠ある説明ができるよう備え付け資料の充実とERC対応者の教育を行う。	ERC対応(根拠説明)
11/7	5	その他	確認事項	本日の訓練前半は、ハウリングや雑音で京大さんからの発話が聞き取り辛い状況やERCにいただいたFAX着信確認の電話で京大さんからの音声が届いていない状況がありました。事前通信確認はされていたかと思いますが、確認後に設定等変わっていませんでしたか？	ERC		ハウリングや雑音についてはERC対応者との通信に関するものだと思います。設定の変更はありませんが、電話のマイク・スピーカーとWebexのマイク・スピーカーの同時使用によるものと考えます。FAX着信後の確認電話は複数設置しており、事前通信確認で使用した電話機では問題はありませんでしたが、別の電話機のコネクタの設定に不備がありました。訓練後に設定を修正しました。	ERC対応(音響設備)
11/7	39	事業者の対応	改善すべき点	スピーカーのハウリングを押さえて欲しいと思った。	ERC		電話のマイク・スピーカーとWebexのマイク・スピーカーの同時使用によるものと考えます。Webexに移行してからは電話のマイク・スピーカー機能を停止するような手順に改善する。	ERC対応(音響設備)
11/7	48	事業者の対応	改善すべき点	2度復唱するなど発話に気をつけてはいたが、ハウリングするなど聞きづらかった	ERC		通話品質の向上のため音響機器の改善を行う。	ERC対応(音響設備)
11/7	58	事業者の対応	改善すべき点	状況説明の際の発話、数値の説明が聞き取り憎い場面が多くあった。FAXには記載があるが、発話でのリアルタイム説明がない状況が散見された(例えばSFPの漏えいの停止など、ポイントとなる情報)	ERC		(再掲)通話品質の向上のため音響機器の改善を行う。FAX送信の前にFAX内容をERC対応者にも提供できるよう情報の流れを整理し、リアルタイムな説明ができるよう手順の変更を行う。	ERC対応(音響設備)
11/7	44	事業者の対応	改善すべき点	・発声不明瞭	ERC		(再掲)通話品質の向上のため音響機器の改善を行う。	ERC対応(音響設備)
11/7	11	事業者の対応	改善すべき点	ALやSEに至る際に、原因や背景となっている安全上重要な設備の故障等の連絡がないことや、COPでの状況説明時に初めて重要な設備の故障等の説明があるなど、全体的にタイムリーな情報提供がなされていない状況であった。	ERC		COPを用いて整理して提供すべき情報と、発生都度に提供すべき事象の優先順位の判断が適切でなかったと考える。緊急対策本部への教育により改善する。	ERC対応(重要情報の共有)
11/7	18	事業者の対応	改善すべき点	事故・プラントの状況: 生きている機器、死んでいる機器や現地の注水手段、電原についてタイムリーな発話があった方がよい	ERC		重要機器の状況については状況が変わった際にERC対応者へ即座に情報提供できるよう緊急対策本部員への教育を行う。	ERC対応(重要情報の共有)
11/7	32	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略: 何を資料して給水するのか、説明がほしいと思った	ERC		具体的な説明(時刻、方法、要する時間、期待される効果など)を行うようERC対応者への教育を行います。	ERC対応(整理した概要説明)
11/7	43	事業者の対応	改善すべき点	質問に対してあまり遅れることなく回答していたように見えた。ただ、事象の進展がよくわからなかった。	ERC		ERC対応者が事象進展の概要説明ができるよう、事象全体の流れを把握できるようにCOPシートを改善する。	ERC対応(整理した概要説明)
11/7	48	事業者の対応	改善すべき点	今後の進展予測や応急措置の状況の整理は甘かったと思う→発話基準に共有ばかりしていたが整理して発話する方がいい いつどのような対策がとられたのかもわからなかった	ERC		応急措置の状況を整理するような概要説明ができるよう緊対本部でCOPを用いて情報を整理し、ERC対応者へ情報提供できるようCOPシートの改善と緊対本部員への教育を行います。	ERC対応(整理した概要説明)

訓練日	No.	誰へのコメントか	コメントの種別	コメント 良かった点/改善すべき点などの気づき、訓練を通じて確認したい内容などを記載	場所 フルダウン から選択	割り振り	事業者意見等	課題区分
11/7	46	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略: 応急措置の状況がみえなかった。	ERC		(再掲) 応急措置の状況を整理するような概要説明ができるよう緊対本部でCOPを用いて情報を整理し、ERC対応者へ情報提供するようCOPシートの改善と緊対本部員への教育を行います。	ERC対応(整理した概要説明)
11/7	47	事業者の対応	改善すべき点	戦略の進捗状況: いつどのような対策がなされたのか発話がなかった。			(再掲) 応急措置の状況を整理するような概要説明ができるよう緊対本部でCOPを用いて情報を整理し、ERC対応者へ情報提供するようCOPシートの改善と緊対本部員への教育を行います。	ERC対応(整理した概要説明)
11/7	52	事業者の対応	改善すべき点	事故・プラントの状況: 発生場所の説明不十分な点が見られた	ERC		情報共有の際に必要な項目についてERC対応者への教育と要素訓練により練度向上をはかる。	ERC対応(整理した概要説明)
11/7	34	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略: 前後の情報が整合的でない場合があった	ERC		ERC対応者が事象の流れを把握できていなかった可能性があります。事象の流れを把握して適切な情報提供ができるようにERC対応者の練度向上をはかります。	ERC対応(練度)
11/7	16	事業者の対応	改善すべき点	戦略の進捗状況: 質問すれば回答はあった	ERC		対応戦略の進捗状況についても適時に情報提供できるようERC対応者への教育を行いたいと思います。	戦略検討の強化
11/7	61	事業者の対応	改善すべき点	SFP溢水による水位低下漏えい対策については、1番目の対策がうまくいかなかった場合の2の矢、3の矢を示していただきたい。	ERC		戦略を検討する際に第2、第3となる戦略の検討ができていませんでした。戦略の検討時には実施可能な複数の戦略オプションを検討するとともに、状況に応じた優先順位による第2、第3の戦略まで用意し、ERCへの情報共有できるように、緊急対策本部員の要素訓練を行います。	戦略検討の強化
11/7	25	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と戦略: 10条、15条に至るまでの情報が不足している感じがあった	ERC		緊急対策本部での進展予測が十分できていなかったためと考えており、事象の進展予測を強化するよう体制を再検討します。	進展予測の強化
11/7	27	事業者の対応	改善すべき点	10条認定に至る情報提供が十分でなかった(断片的と思われた)。15条に関しても、同様に感じた。	ERC		緊急対策本部での進展予測が十分できていなかったためと考えており、事象の進展予測を強化するよう体制を再検討します。	進展予測の強化
11/7	29	事業者の対応	改善すべき点	基本的にERCから聞けば回答があるが、事態進展が予測できるような意識でまとめて発話してもらえれば、よりありがたい	ERC		緊急対策本部での進展予測が十分できていなかったためと考えており、事象の進展予測を強化するよう体制を再検討します。ERC対応者が事象説明をする際に進展予測も意識して発話するよう教育を行います。	進展予測の強化
11/7	53	事業者の対応	改善すべき点	進展予測と対応戦略: 進展予測について聞かれないと説明がない。	ERC		緊急対策本部での進展予測が十分できていなかったためと考えており、事象の進展予測を強化するよう体制を再検討します。	進展予測の強化
	8	その他	改善すべき点	事象の現状把握、対策の指示は現地対策本部を通じて適切に実施されていたが、進展予測の開始タイミングが遅く、かつ時間が掛かっており、戦略等の検討が不十分であった。 進展予測や、戦略の検討が直接担当する一部の本部員でのみ完結している状況が多かったが、全体としての検討が必要であった。	緊対所		随時の個別での対応はできているが、次の段階を意識した先回りしての検討など、全体を俯瞰した情報共有や指示ができていなかった。適切なタイミングで現状整理や進展予測を行い、優先順位を含めた戦略検討が行えるよう、本部長および副本部長への教育を行う。	進展予測の強化 戦略検討の強化 緊対本部内での情報共有
	9	その他	改善すべき点	副本部長が中心となり対策の優先順位の検討が行われていたが、全体での検討はできていなかった。	緊対所		(再掲) 随時の個別での対応はできているが、次の段階を意識した先回りしての検討など、全体を俯瞰した情報共有や指示ができていなかった。適切なタイミングで現状整理や進展予測を行い、優先順位を含めた戦略検討が行えるよう、本部長および副本部長への教育を行う。	進展予測の強化 戦略検討の強化 緊対本部内での情報共有
	10	その他	改善すべき点	主要な事象については本部長が判断し状況をERCに報告していたが、全体状況のまとめ報告は実施できていなかった。	緊対所		(再掲) 随時の個別での対応はできているが、次の段階を意識した先回りしての検討など、全体を俯瞰した情報共有や指示ができていなかった。適切なタイミングで現状整理や進展予測を行い、優先順位を含めた戦略検討が行えるよう、本部長および副本部長への教育を行う。	進展予測の強化 戦略検討の強化 緊対本部内での情報共有
	13	その他	改善すべき点	一部の重要情報について担当する本部員が認識できていなかった。様々な情報が飛び交うため随時の対応も必要であるが、情報を纏めて共有する時間があつた方がよい。	緊対所		(再掲) 随時の個別での対応はできているが、次の段階を意識した先回りしての検討など、全体を俯瞰した情報共有や指示ができていなかった。適切なタイミングで現状整理や進展予測を行い、優先順位を含めた戦略検討が行えるよう、本部長および副本部長への教育を行う。	進展予測の強化 戦略検討の強化 緊対本部内での情報共有

訓練日	No.	誰へのコメントか	コメントの種別	コメント 良かった点/改善すべき点などの気づき、訓練を通じて確認したい内容などを記載	場所 フルダウンから選択	割り振り	事業者意見等	課題区分
	7	その他	改善すべき点	事故や施設の状況について、情報共有は適時行われていたが、情報が集中する状況下では一部の本部員でのみで共有が完結している場面があった。	緊対所		本部員は各自の役割を果たすだけでなく、情報の共有も必要であるという認識が必要。適切なタイミングで現状を整理した情報共有を本部全体で行えるよう、本部長および副本部長への教育を行う。	緊対本部内での情報共有
	11	その他	改善すべき点	FAXの記載内容の確認が、本部員のうち一部のみでの確認にとどまっていた。	緊対所		FAX送信の内容などの重要情報は全体で共有するよう、本部長および副本部長への教育を行う。	緊対本部内での情報共有
	12	その他	改善すべき点	緊対本部では安全管理本部長が中心となって対応ができていたが、現地対策本部とのやり取りまでも担っており、負荷が大き過ぎるので他の本部員に役割を分担した方が良い。	緊対所		本部内での役割分担で明確になっていない部分があった。再度役割分担について検討を行い負荷の分散と緊対本部の運営の効率化をはかる。	緊対本部の体制
	6	その他	改善すべき点	WBへの記録において、一部の情報について施設の識別ができていなかった。	緊対所		施設、事象の識別のために準備しているマグネットプレートの活用や、異なる色で記載をするなどして、事象や重要度が識別ができるよう、担当者の再教育を行い、練度向上をはかる。	情報の記録
11/7	7	事業者の対応	改善すべき点	制御室への情報提供が足りない。被ばく線量が上がっているのは見えるが何時までいまいけないのか。退避しないといけないのか。見通しが立たないので現場に居て不安である。	現場		所内の振り返りでも制御室への情報共有が不足に対する指摘があり、改善を検討する。(事故時には制御室に放射線管理担当者もが常駐するようになっており、現場での線量管理は実施している。)	所内の情報共有
11/7	10	事業者の対応	改善すべき点	構内放送が足りない。事故の進捗を構内放送してくれたが、頻度が少ない。聞き逃すこともあるので同じ情報であっても繰り返し放送して貰いたい。	緊対所		現場の緊急作業団への情報提供のため構内放送を用いているが、提供する内容はEALの発生状況などに限っている。放送の頻度を多くする、もしくは他の情報提供の方法を用いるなどして、作業団への十分な情報提供ができるよう手順等の改善を検討する。	所内の情報共有
	4	その他	改善すべき点	現地指揮本部への指示や情報共有が断片的であり、全体の状況把握が困難であった。	緊対所		緊対本部内の情報共有のための全体状況の概要整理の際に、TV会議システムを通じて現地指揮本部へも情報共有を行うように改善する。	所内の情報共有
	1	その他	改善すべき点	緊急対策本部からの指示が現地指揮本部を通さず直接現場の作業員へ送達される場合があり、班内の作業管理に支障が生じた。	緊対所		緊急対策本部からの指示は現地指揮本部を通じて行うよう再教育を行う。現地作業員への直接の指示を行った場合は、現地指揮本部へも情報共有する。	指示の伝達経路
	3	その他	改善すべき点	現地指揮本部とのやり取りにはTV会議システムを使用していたが、緊対本部では集音マイクを使っていたため室内の音声をすべて拾ってしまい、指示等が現地本部で聞き取りにくかった。	緊対所		指向性のあるマイクなどへの更新を検討する。	資機材等の不備
	5	その他	改善すべき点	資材倉庫の出入口に段差があるため、可搬型消防ポンプの搬出作業に時間を要した。	現場		スムーズな出し入れができるように、出入口の段差を解消を計画している。	資機材等の不備
11/7	22	事業者の対応	確認事項	・SE06は単に「SEのエリアモニタが発報したとき(γ線で20μSv/h)」となっているが、原災指針の基準である「臨界発生の蓋然性が高い」の指標として果たして適切なのか。今一度検討する必要があるのではないのか。	ERC		所内の振り返りでも同様のコメントがあり、EAL発生を判断するための具体的なフローの整備を行う。	EALの判断
11/7	41	事業者の対応	改善すべき点	もう少し現実的な想定にしてほしい。SFPでの臨界の想定など意味不明で、設計の見直しが必要と言いたいのか？	ERC		SFでのSE06発生についての具体的な判断フローを作成する。	EALの判断
11/7	13	その他	確認事項	今回のシナリオはSE06により10条確認となっていたようだが、根拠となるSFの水位低下について事業者からパラメーター等の提示無く発話のみで行われたことから事実確認を行ったが、この際に訓練統制が入った。実発災であれば事業者がSE判断後即10条確認とはならないはずである。訓練で統制が入ったことはシナリオに問題があったのか、事業者の説明が悪かったのか、プラント班の対応に不備があったのか、検証が必要。	ERC		SE該当事象発生の通報後には確認会議が行われると認識していた。確認会議、認定会議の開催手順について確認を行う。	確認会議・認定会議

赤色のNo.の項目は所内で抽出された課題

## 課題抽出のプロセス



## 課題抽出の指標

- ・ 法令適合（通報、FAX送信など）
- ・ 事象収束の適切な判断に関わる事項
- ・ 現場作業の適切な実施に関わる事項
- ・ 現場作業の安全確保に関わる事項
- ・ 周辺住民への影響